

第7学年 美術科 年間指導・評価計画

目 標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

評価の観点及びその趣旨

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて表現方法を工夫して表している。 	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

月	時 数	単元名 教材	学習内容・ねらい
4 5	8	p. 2～5 美術との出会い アニメーションの背景画から 風景を見つめ直して p. 6-7 中学校美術の世界へようこそ p. 8-9 この教科書で学ぶみなさんへ p. 10-11 絵や彫刻との出会い あなたらしさを見つけて p. 12-13 見つめると見えてくるもの p. 60 鉛筆で描く 水彩で描く p. 70～72 色の基本・仕組み	<ul style="list-style-type: none"> 身近なものや愛着のあるものをよく見たり、触ったりして特徴を捉え、主題を生み出す。 主題を基に、全体と部分との関係を考えるなどして構想を練る。 鉛筆や絵の具の特性を生かして、意図に応じて工夫して表す。 互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。
6 7	6	p. 16-17 なぜか気になる情景 p. 62 遠近感を表す p. 26-27 鑑賞との出会い 見方や感じ方を広げよう	<ul style="list-style-type: none"> 見慣れた情景の中で気になる場所やものを見つけ、感じ取った形や色彩の特徴や場所のイメージから主題を生み出す。 主題を基に、構図などを考えるなどして構想を練る。 水彩絵の具の特徴を生かして、意図に応じて工夫して表す。 互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。
7	3	p. 28-29 美のタイムトラベル	<ul style="list-style-type: none"> ラスコーの壁画や遮光器土偶など原始美術の表現を鑑賞し、気付いたこと、感じたこと、考えたことなどを話し合う。 作品を通して、作者の心情や表現意図、創造的な工夫などを考えて発表し合う。 発表意見や自分の考えなどから、人間と造形の関わりを理解し、なぜ美術が生まれたのかについてまとめる。

9 10	6	p. 38-39 デザインや工芸との出会い 人の暮らしを豊かに p. 54-55 自然の美しさから生まれた p. 46-47 折って、切って、巻いて p. 5 学びの言葉 松任谷由実 p. 58-59 発想・構想の手立て	○紙を折ったり、切ったり、巻いたりする活動から、美しい形を見いだす。 ○目的や条件を基に主題を生み出し、紙の特性を生かして制作する。 ○互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。
10 11	4	p. 42-43 文字っておもしろい p. 63 文字の基本	○身近なところにあるデザインされた文字を鑑賞し、形や色彩から受ける印象やその違いについて考える。 ○文字の意味やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、分かりやすさと形や色彩などの調和を考えてデザインする。 ○互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。
11 12	6	p. 52-53 暮らしに息づく土の造形 p. 67 焼き物をつくる	○身近な焼き物からその用途や機能性について考える。 ○使う目的や機能、美しさなどから形を考える。 ○土の特性を生かしながら、つくりたいものに合った技法で制作する。 ○実際に料理などをのせた写真を使って事後レポートを作成し、よさや工夫について話し合う。
1 2	6	p. 32~37 屏風、美のしかけ p. 40-41 広がる模様の世界	○目的や条件を基に、自然物や人工物などの形や色彩の特徴の美しさから主題を生み出す。 ○スケッチなどにより形や色彩の特徴を捉え、単純化や強調をするなどして構成を考える。 ○効果を考えながら彩色する。 ○互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。
2 3	6	p. 20-21 材料に命を吹き込む	○木や石、日用品などの形や色彩、質感などの特徴から主題を生み出す。 ○主題を基に、全体と部分との関係を考えるなどして構想を練る。 ○粘土などの特性を生かして、意図に応じて工夫して表す。 ○互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について話し合う。

【かがやきの評価について】

- 1 知識・技能
「授業態度」「提出物」「作品」
- 2 思考・判断・表現
「授業観察」「提出物」「作品制作過程」「作品」
- 3 主体的に取り組む態度
「授業観察」「課題への取組」「提出物の状況」